

事務事業名	一般事業(茅野どんぱん負担金)	事業期間	~	年度	係内番号	01
担当部署	企画部	地域戦略課	地域創生係	連絡先	232	

政策番号	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
		基本計画①	01	人口減少・少子高齢化対策の推進	#N/A			
		基本計画②	01	地域創生総合戦略	0203	郷土愛を育む取組の推進		
		実行計画	01	地域創生総合戦略	0203	郷土愛を育む取組の推進		

予算事業名	地域戦略費一般事業費	会計コード	01	款	02	項	01	目	07	事業	01
-------	------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
市民祭である茅野どんぱんを企画運営する茅野どんぱん実行委員会へ負担金を交付することで、市民や地元民間事業者等が自主的、主体的にまちの活性化に関わる仕組みを作り、まちへの愛着を醸成する。

現状と背景
(どうして)
人口減少、少子高齢化で地域コミュニティの弱体化が叫ばれる中、市民や地元民間事業者等が自主的、主体的に企画運営する市民祭を支援し、公民協働でまちの活性化を目指す必要がある。

目的
対象
受益者
(誰のために)
市民、地元民間事業者

対象
対象
(直接働きかける)
市民、地元民間事業者

目的
意図
(どんな状態にしたいか)
主催者、参加者等、様々な形で多くの市民や地元民間事業者等が市民祭に関わり、継続実施される。

手段・方法
(どうやって)
実行委員会の財政状況を踏まえ、毎年度補助金を交付するとともに、庁内に担当部署を設けて準備から当日の運営まで人的支援を行う。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	市民への周知	広報紙等での周知回数	回	広報紙、LCVエフエム等での周知回数	60
		2	市職員の積極的な関わり	出席率	%	祭典・実行合同委員会への市職員の出席率	100
		3					
変更履歴							

評価指標の作成	成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	茅野どんぱん踊り連参加者数	参加者数	人	直近の茅野どんぱん踊り連参加者数	2,500
		2	踊り連の登録数	踊り連の登録数	連	直近の茅野どんぱん踊り連の参加数	65
		変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	6,000,000	6,500,000	
財源内訳	国库支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	6,000,000	6,500,000			
活動指標	広報紙等での周知回数	目標	回	60	60		
		実績		67			
		達成率	%	111.67	-	-	-
	出席率	目標	%	100	100		
		実績		100			
		達成率	%	100.00	-	-	-
-	目標						
	実績						
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	参加者数	目標	人	2,500	2,500		
		実績		2,500			
		達成率	%	100.00	-	-	-
	踊り連の登録数	目標	連	65	65		
		実績		66			
		達成率	%	101.54	-	-	-
備考							

事務事業名	一般事業(茅野どんぱん負担金)	事業期間	~	年度	係内番号	01
担当部署	企画部	地域戦略課	地域創生係	連絡先	232	

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価 課長評価日	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度成果				
	方向性				
	コスト				

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 課 長 評 価 日	変果 動指 要標 因分 析 周知活動、市民・民間団体等の協力、また市民祭としての認識が向上していることから、目標を達成することができた。				
	成果 総合評価 課題 積極的な周知、広報活動により、市民や関係団体が積極的に参加し、市民祭としての認識が向上した。 各戸寄附の減少傾向が続いていて、運営経費を圧迫している。				
	改革・改善の方向性(ACIT)策 内容及び 事業の反省から見直しを行い、市民の方に喜ばれる事業を実施していく。				
	翌年度成果 方向性 現状維持				
	方向性 現状維持				
作成担当者	小林弘夫				
最終評価責任者	田中裕之				
最終評価年月日	2019年5月17日				